眼科を受診している患者さんへ

当科では、下記の臨床研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、臨床研究に関する倫理指針、疫学研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査で認められた研究です。今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名：眼瞼下垂患者におけるフェニレフリン検査後と術中エピネフリン含有キシロカイン注射後の上眼瞼の位置の比較

研究機関名：愛知医科大学病院

研究機関長：病院長　羽生田正行

担当科：眼科

研究責任者：眼科　講師　高橋靖弘

研究の意義・目的：眼瞼下垂の手術において、上眼瞼の位置を変化させうる因子を把握することは、術後安定した上眼瞼の位置を得る上で、非常に重要です。エピネフリン含有キシロカイン注射は通常の眼瞼下垂手術で用いる局所麻酔ですが、注射後に上眼瞼の位置が一過性に上昇することがあります。これは、上眼瞼を挙げる筋の一つであるミュラー筋が交感神経支配であるためです。本研究では、同様に交感神経作動薬であるフェニレフリンフェニレフリン点眼後と術中エピネフリン含有キシロカイン注射後の上眼瞼の位置を後ろ向きに調査し、その結果を比較します。

対象となる患者さん：2013 年 4 月から 2013 年 8 月までに、当院で眼瞼下垂手術を受けられた患者さん。

研究期間：倫理委員会承認日から 2016 年 12 月 31 日まで

個人情報の取り扱い：利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。患者情報などの本研究への利用を拒否される方は、2016 年 1 月 31 日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。この期日以降は、利用する情報から個人情報を削除するため、利用する情報が削除不可能になります。

問い合わせ先：愛知医科大学医学部眼科学講座

担当者：講師　高橋靖弘

電話：0561-62-3311　(内線：22181)

以上